資料4

意見聴取会の実施予定とビジョンへの反映

1　意見聴取会の目的

・目標とする姿のうち「地域の営みが次世代へ受け継がれる」に焦点を絞り、若い世代、女性及び次の世代（中学生・高校生）から、日々の実感に基づく考えを直接聞きます。
・聞くことはＡ・Ｂとも3つに絞り、議論が広がりすぎないようにします。
・中間のまとめ案のうち、次の世代に関わる箇所（取組例とコラム）を、当事者の言葉で補います。
・参加者に新たな取組を求めるものではありません。既に行っていることや、思い描いていることを聞きます。

2　実施の概要

項目	Ａ　事業者・従業者	Ｂ　中学生・高校生
対象	区内で事業を営み、又は働く方（20歳代から40歳代、女性を中心に）	観光マナー啓発のすごろくを作成した生徒
人数	5名程度	5名程度
協力の依頼先	東京商工会議所台東支部（推薦）	東京都立白鷗高等学校・附属中学校
日時・会場	未定（90分程度）	未定（60分程度。学校の授業や活動の時間に合わせる）
主に聞くこと	①上の世代から受け継いでいるもの ②次の世代に渡すうえで困っていること ③観光客と関わる仕事で挑戦したこと	①来訪者に台東区のことを伝えて感じたこと（すごろくの取組から） ②ふだんの生活で観光客と接する場面 ③地域の行事や仕事に関わった経験

※　いずれも、経験を聞いたうえで、そのときの気持ちや困ったことを聞きます。Ａ・Ｂとも、最後に「次の世代に伝えたい台東区の良さを一つ挙げるとしたら何か」を共通して聞きます。

3　聞くことと中間のまとめ案への反映先

聞くこと	具体的に聞くこと（例）	反映先取組
A①　上の世代から受け継いでいるもの	仕事や地域で受け継いでいる技・店・行事・付き合いは何か／誰から、どのように教わったか／受け継いでよかったと感じるのはどんなときか	地域文化の担い手の育成支援
A②　次の世代に渡すうえで困っていること	後継ぎや若い担い手は見つかっているか／教える時間・場所・費用で困っていることは何か／あるとよい支援や仕組みは何か	地域文化の担い手の育成支援
A③　観光客と関わる仕事で挑戦したこと	観光客に向けて始めたこと・工夫したこと（商品、案内、体験など）／その中で助けになったこと、壁になったこと／これから挑戦したいこと	新たな価値を生み出す場づくり
B①　来訪者に台東区のことを伝えて感じたこと	すごろくで何を伝えたか／来訪者の反応はどうだったか／伝えにくかったことは何か	（コラム） 台東区の魅力とその背景の発信
B②　ふだんの生活で観光客と接する場面	通学路、家の店、行事などで観光客と接するのはどんなときか／話しかけられたり、道を聞かれたりしたことはあるか／そのとき困ったこと、うれしかったこと	台東区の魅力とその背景の発信
B③　地域の行事や仕事に関わった経験	祭りや行事、家の仕事、地域の活動に関わったことはあるか／そのとき感じたこと／これからも続けたいと思うか、それはなぜか	地域文化の担い手の育成支援
共通　次の世代に伝えたい台東区の良さ	一つ挙げるとしたら何か、それはなぜか	コラム

※　Ａ・Ｂの結果はコラムに掲載します。

※　反映先は、中間のまとめ案（資料6）の基本方針と取組名を示します。

4　今後の予定

・最終案：結果を反映し、コラムとして掲載します。お名前や店舗名、生徒の名前は記載しません。